

◎指示があるまで開いてはいけません。

注意事項

1 試験問題の数は60問で、1時45分から4時15分までの150分以内で解答すること。

2 解答方法は次のとおりである。

(1) 各問題の選択肢の中から答えを1つ選び、次の例にならって答案用紙に記入すること。なお、2つ以上解答すると誤りになるから注意すること。

(例) 問300 次の物質中、常温かつ常圧下で液体のものはどれか。

1 塩化ナトリウム 2 プロパン 3 ナフタレン

4 エタノール 5 炭酸カルシウム

正しい答えは「4」であるから答案用紙の

問300 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 のうち 4 をぬりつぶして

問300 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 とすればよい。

(2) 正答は○の中全体をHBの鉛筆で濃く塗りつぶすこと。塗りつぶしが薄い場合は、解答したことにならないから注意すること。

悪い解答の例  (採点されない。)

(3) 答えを修正した場合は、必ず「消しゴム」であとが残らないように完全に消すこと。鉛筆のあとが残ったり、 のような消し方などをした場合は、修正または解答したことにならないから注意すること。

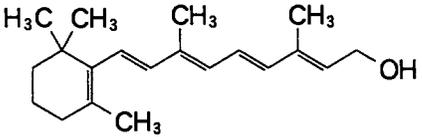
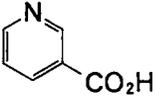
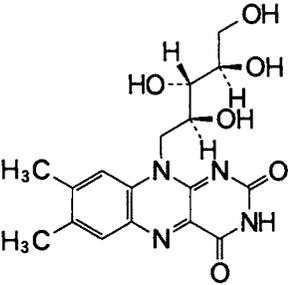
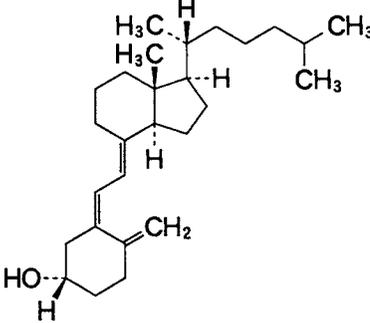
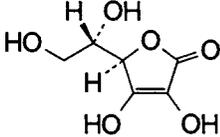
(4) 解答用紙は折り曲げたり、よごしたりしないよう、特に注意すること。

3 設問中の科学用語そのものやその外国語表示(化合物名、人名、学名など)には誤りはないものとして解答すること。ただし、設問が科学用語そのもの又は外国語の意味の正誤の判断を求めている場合を除く。

4 問題の内容については、質問しないこと。

衛生薬学

問61 ビタミンと欠乏症の対応のうち、正しいものはどれか。

	ビタミン	欠乏症
1		骨軟化症
2		ウェルニッケ脳症
3		夜盲症
4		頭蓋内出血
5		壊血病

問62 微量元素とその欠乏による健康障害の対応のうち、正しいものの組合せはどれか。

- | | | | |
|---|------|------|--------|
| | 微量元素 | | 健康障害 |
| a | ヨウ素 | ———— | 味覚障害 |
| b | セレン | ———— | 骨発育不全 |
| c | 銅 | ———— | 鉄不応性貧血 |
| d | クロム | ———— | 耐糖能低下 |
- 1 (a、b) 2 (a、c) 3 (a、d)
 4 (b、c) 5 (b、d) 6 (c、d)

問63 ある成人の体内における脂質と糖質の酸化について調べたところ、一定時間内に、脂質と糖質を酸化するのに要した酸素は14.1L、脂質と糖質の酸化の結果生じた二酸化炭素は12.0Lであった。このとき、脂質の酸化に要した酸素は何Lか。ただし、脂質の呼吸商は0.70、糖質の呼吸商は1.0とする。

- 1 4.0 2 5.0 3 6.0 4 7.0 5 8.0

問64 タンパク質の消化酵素に関する記述の正誤について、正しい組合せはどれか。

- a ペプシンの至適 pH は弱アルカリ性領域にあり、トリプシン、キモトリプシンの至適 pH は酸性領域にある。
- b ペプシン、トリプシン、キモトリプシンは、いずれもエキソペプチダーゼである。
- c ペプシン、トリプシン、キモトリプシンは、いずれも不活性な前駆体として分泌される。

	a	b	c
1	正	正	誤
2	正	誤	正
3	正	誤	誤
4	誤	正	誤
5	誤	誤	正
6	誤	誤	誤

問65 食品添加物に関する記述のうち、正しいものの組合せはどれか。

- a 亜硝酸ナトリウムから生じる NO は、食肉中のヘモグロビンやミオグロビンの鉄イオンと結合してニトロソ体を形成する。
- b エリソルビン酸の 5 位の炭素原子は不斉であり、L-アスコルビン酸がその立体異性体である。
- c アスパルテームは、アスパラギン酸とトリプトファンのジペプチド構造を有する。
- d パラオキシ安息香酸エステル類は、アルカリ性領域よりも酸性領域において、抗菌作用が強い。

- | | | |
|---------|---------|---------|
| 1 (a、b) | 2 (a、c) | 3 (a、d) |
| 4 (b、c) | 5 (b、d) | 6 (c、d) |

問66 食品衛生法に基づく食品の表示規定に関する記述のうち、正しいものの組合せはどれか。

- a 賞味期限は、生鮮食品に付けられる表示である。
- b 遺伝子組換え作物を飼料として飼育した家畜から生産された畜産物(食肉、乳製品など)には、遺伝子組換え食品である旨の表示義務がない。
- c 食品添加物であっても、キャリーオーバーの場合は表示しなくてよい。
- d 甘味料は、物質名を個別に表示することなく、一括名で表示できる。

- | | | |
|---------|---------|---------|
| 1 (a、b) | 2 (a、c) | 3 (a、d) |
| 4 (b、c) | 5 (b、d) | 6 (c、d) |

問67 ヒ素に関する記述のうち、正しいものの組合せはどれか。

- a ヒ素の代表的な慢性中毒症状として、骨軟化症が知られている。
- b ヒ素(Ⅲ)の毒性は、ヒ素(V)の毒性よりも強い。
- c ヒ素の急性中毒には、デフェロキサミンを解毒に用いる。
- d 1955年のヒ素ミルク中毒事件は、食品添加物公定書制定のきっかけの1つとなった。

- 1 (a, b) 2 (a, c) 3 (a, d)
 4 (b, c) 5 (b, d) 6 (c, d)

問68 細菌性食中毒とその予防法の対応の正誤について、正しい組合せはどれか。

原因菌

予防法

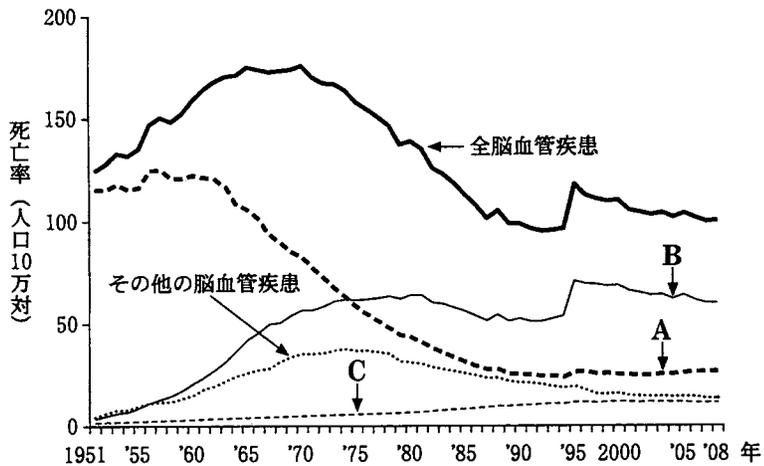
- a サルモネラ属菌 ————— 鶏卵の生食を避ける。
- b 腸炎ビブリオ ————— 手指に傷のある人は調理をしない。
- c 黄色ブドウ球菌 ————— 加熱調理して食べる。
- d ウェルシュ菌 ————— 生鮮魚介類は低温(10℃以下)で保存し、調理前に流水(真水)で洗浄する。

	a	b	c	d
1	正	正	正	誤
2	正	正	誤	誤
3	正	誤	誤	誤
4	誤	正	誤	正
5	誤	誤	正	正

問69 人口動態統計における周産期死亡率の計算において、分母に用いられるものはどれか。

- 1 出生数
- 2 出産数
- 3 出産数+早期新生児死亡数
- 4 出産数+妊娠満22週以後の死産数
- 5 出生数+妊娠満22週以後の死産数

問70 図は、厚生労働省「人口動態統計」における脳血管疾患の死亡率の年次推移を示している。図中のA～Cに該当する疾患名として正しい組合せはどれか。



	A	B	C
1	脳梗塞	脳内出血	くも膜下出血
2	脳梗塞	くも膜下出血	脳内出血
3	脳内出血	脳梗塞	くも膜下出血
4	脳内出血	くも膜下出血	脳梗塞
5	くも膜下出血	脳梗塞	脳内出血
6	くも膜下出血	脳内出血	脳梗塞

問71 疫学の症例対照研究に関する記述のうち、正しいものの組合せはどれか。

- a 一般に、後ろ向き調査として行われる。
- b 要因の暴露情報の偏り(バイアス)は小さく、信頼度は高い。
- c 相対危険度の近似値を求めることができる。
- d 寄与危険度を直接算出できる。
- e 発生がまれな疾患の調査に適用できる。

- 1 (a、b、d) 2 (a、b、e) 3 (a、c、e)
4 (b、c、d) 5 (c、d、e)

問72 我が国の死亡に関する指標の記述のうち、正しいものの組合せはどれか。

- a 現在の粗死亡率(人口1,000対)は、20を超えている。
- b 年齢調整死亡率で用いる基準人口に比べて老年人口が多い地域では、一般に粗死亡率は年齢調整死亡率より大きい。
- c 早期新生児死亡は、先天的要因によることが多い。
- d 20歳以上のすべての年齢階級で、死因別死亡率の第1位は悪性新生物である。

- 1 (a、b) 2 (a、c) 3 (a、d)
4 (b、c) 5 (b、d) 6 (c、d)

問73 学校保健安全法に基づく学校薬剤師の役割に関する記述の正誤について、正しい組合せはどれか。

- a 環境衛生の維持に関し、指導を行う。
- b 保健指導に従事する。
- c 健康相談に従事する。
- d 健康診断に従事する。

	a	b	c	d
1	正	正	誤	誤
2	正	誤	正	正
3	誤	誤	誤	正
4	正	正	正	誤
5	誤	正	誤	正
6	誤	誤	正	誤

問74 蚊によって媒介されるウイルス感染症として、正しいものの組合せはどれか。

- a 水痘
- b デング熱
- c ウエストナイル熱
- d マラリア

- 1 (a、b) 2 (a、c) 3 (a、d)
- 4 (b、c) 5 (b、d) 6 (c、d)

問75 我が国において、予防接種に弱毒性の生ワクチンが用いられている感染症として、正しいものの組合せはどれか。

- a 百日咳
- b B型肝炎
- c 風疹
- d 結核
- e インフルエンザ

- 1 (a、b) 2 (a、e) 3 (b、c)
- 4 (c、d) 5 (d、e)

問76 感染症法に関する記述のうち、正しいものの組合せはどれか。

- a エボラ出血熱は一類感染症に分類され、その患者や無症状病原体保持者は、原則として入院等の措置がとられる。
- b ペストは二類感染症に分類され、その病原体は細菌である。
- c コレラは三類感染症に分類され、その患者や無症状病原体保持者は、原則として就業制限等の措置がとられる。
- d B型及びC型の肝炎は四類感染症に分類され、動物や飲食物を介して人に感染する。
- e 指定感染症とは、一類感染症から三類感染症に分類されない既知の感染症であっても、一類から三類に準じた対応の必要性が生じた場合に、政令により1年間の限定で指定されたものをいう。

(注) 感染症法：感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 1 (a、b、c) | 2 (a、b、d) | 3 (a、c、e) |
| 4 (b、d、e) | 5 (c、d、e) | |

問77 発癌のリスクに関する記述のうち、正しいものの組合せはどれか。

- a 身体活動は、胃癌のリスクを下げる。
- b 飲酒は、肺癌のリスクを上げる。
- c 肥満は、大腸癌のリスクを上げる。
- d ヒトパピローマウイルスの感染は、子宮頸癌のリスクを上げる。

- | | | |
|---------|---------|---------|
| 1 (a、b) | 2 (a、c) | 3 (a、d) |
| 4 (b、c) | 5 (b、d) | 6 (c、d) |

問78 食品用の器具・容器包装又はこれらの原材料と規制対象物質の対応として、正しいものの組合せはどれか。

	器具・容器包装又はこれらの原材料	規制対象物質
a	陶磁器	鉛とカドミウム
b	缶詰用金属缶に使用するハンダ	カドミウム
c	油脂又は脂肪性食品を含有する食品に接触する器具・容器包装に使用するポリ塩化ビニル	フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)
d	ポリカーボネート	メタクリル酸メチル

- 1 (a, b) 2 (a, c) 3 (a, d)
 4 (b, c) 5 (b, d) 6 (c, d)

問79 化学物質とその代謝的活性化に関与する酵素の対応のうち、正しいものの組合せはどれか。

	化学物質	酵素
a	フェナセチン	シトクロム P450
b	ジクロルボス	アセチルコリンエステラーゼ
c	コカイン	β -グルクロニダーゼ
d	2-アミノフルオレン	N-アセチルトランスフェラーゼ

- 1 (a, b) 2 (a, c) 3 (a, d)
 4 (b, c) 5 (b, d) 6 (c, d)

問80 化学物質の臓器・組織への分布に関する記述の正誤について、正しい組合せはどれか。

- a メチル水銀は、システイン抱合体となり、中性アミノ酸トランスポーターを介して脳内に取り込まれる。
- b パラコートは、ポリアミノトランスポーターを介して、血液から肺に選択的に取り込まれる。
- c P-糖タンパク質(MDR1)は、水溶性が高い化学物質を選別して組織内への分布を阻止する。

	a	b	c
1	正	誤	正
2	正	正	誤
3	誤	正	誤
4	誤	正	正
5	誤	誤	正
6	正	誤	誤

問81 化学物質の代謝に関する記述のうち、正しいものの組合せはどれか。

- a 異物の代謝には、主としてミトコンドリアのシトクロム P450 が関与する。
- b パラチオンからパラオキソンへの変換は、シトクロム P450 を介した脱硫反応によって起こる。
- c 第一級アミンは、第三級アミンよりもフラビン含有モノオキシゲナーゼの基質になりやすい。
- d ニトロ基の還元反応には、腸内細菌も関与する。

- 1 (a, b) 2 (a, c) 3 (a, d)
- 4 (b, c) 5 (b, d) 6 (c, d)

問82 微生物を用いて行われる変異原性試験として、正しいものの組合せはどれか。

- a Ames 試験
- b *rec* アッセイ
- c 不定期 DNA 合成試験(UDS 試験)
- d コメットアッセイ

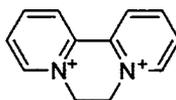
- 1 (a, b) 2 (a, c) 3 (a, d)
- 4 (b, c) 5 (b, d) 6 (c, d)

問83 神経系に毒性を示す化学物質として、正しいものの組合せはどれか。

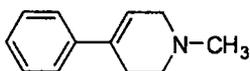
a



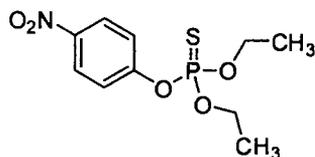
b



c



d



1 (a, b)

2 (a, c)

3 (a, d)

4 (b, c)

5 (b, d)

6 (c, d)

問84 有害金属に関する記述の正誤について、正しい組合せはどれか。

a 生体内に取り込まれた水銀(II)イオンは、主にメタロチオネインと結合して臓器に蓄積する。

b 鉛中毒時には、血中及び尿中δ-アミノレブリン酸濃度が上昇する。

c 毛髪中のカドミウムは、カドミウム汚染や慢性暴露の指標として広く利用されている。

	a	b	c
1	正	正	誤
2	誤	誤	正
3	正	誤	正
4	正	誤	誤
5	誤	正	誤
6	誤	正	正

問85 動物実験で得られたある有機リン系農薬のNOAELは、1.0 mg/kg/dayであった。この農薬は稲のみに使用され、ヒト(体重 50 kg)が米を1日平均 200 g 摂取すると仮定したとき、この農薬の暴露量がADIを超えないための米への残留の上限値(mg/kg)はどれか。ただし、安全係数は100とする。

- 1 0.25 2 2.5 3 25 4 250 5 2,500

問86 食品の残留農薬の規制に関する記述の に入れるべき語句の正しい組合せはどれか。

食品中の残留農薬の基準は に基づき設定されている。基準が定められていない農薬が食品に残留する場合でも規制できるように 制が定められ、一定量を超えてその農薬が残留する食品の流通が原則禁止されるようになった。

	a	b
1	食品衛生法	ポジティブリスト
2	食品衛生法	ネガティブリスト
3	食品衛生法	農薬登録
4	農薬取締法	ポジティブリスト
5	農薬取締法	ネガティブリスト
6	農薬取締法	農薬登録

問87 有害物質とそれによる特徴的な障害との対応のうち、正しいものの組合せはどれか。

有害物質	障害
a アスベスト	中皮腫
b 塩化ビニルモノマー	肝血管肉腫
c アクリルアミドモノマー	造血機能障害
d トリブチルスズオキシド	鼻中隔穿孔

1 (a, b) 2 (a, c) 3 (a, d)
4 (b, c) 5 (b, d) 6 (c, d)

問88 化学物質による中毒の処置に関する記述のうち、正しいものの組合せはどれか。

- a 小児がタバコを誤食したときには、家庭では吐かせずに牛乳又は水を飲ませたのち、医療機関を受診する。
- b 三環系抗うつ薬を大量服用したときには、フルマゼニルの投与が有効である。
- c モルヒネを大量服用したときには、ナロキソンの投与が有効である。
- d グリホサートを大量に摂取したときには、プラリドキシムヨウ化物(2-PAM)の投与が有効である。
- e シアン化物を摂取したときには、亜硝酸ナトリウムとチオ硫酸ナトリウムの投与が有効である。
- 1 (a, b) 2 (a, c) 3 (b, d)
4 (c, e) 5 (d, e)

問89 乱用性の薬物とその法的規制に関する記述の正誤について、正しい組合せはどれか。

- a エタノールの長期摂取では精神的依存性は惹起されるが、身体的依存性は生じない。
- b 薬物犯罪で検挙者数が最も多いのは、大麻取締法違反である。
- c コカインは、トロパン骨格をもち、中枢興奮作用を有する。
- d リゼルギン酸ジエチルアミドは、主として覚せい作用を示す。

	a	b	c	d
1	正	誤	正	正
2	誤	誤	正	誤
3	誤	正	誤	誤
4	正	正	誤	誤
5	誤	誤	誤	正

問90 放射性核種に関する記述の正誤について、正しい組合せはどれか。

- a 核爆発に伴うフォールアウト(放射性降下物)の中で、食品を汚染して問題となるのは、主として ^{137}Cs 、 ^{90}Sr 、 ^{40}K である。
- b 半減期は、 $^{40}\text{K} > ^{137}\text{Cs} > ^{131}\text{I}$ の順である。
- c ^{90}Sr は、 α 線を放出する。

	a	b	c
1	正	正	誤
2	誤	誤	正
3	正	誤	誤
4	誤	正	正
5	誤	正	誤
6	正	誤	正

問91 自然環境中における窒素循環に関する記述の正誤について、正しい組合せはどれか。

- a 硝化は、好氣的条件下で進行する。
- b 脱窒により、温室効果ガスが産生される。
- c 窒素固定は、マメ科植物により行われる。

	a	b	c
1	正	正	正
2	正	正	誤
3	正	誤	誤
4	誤	正	誤
5	誤	誤	正

問92 水銀の環境内動態に関する記述の に入れるべき語句の正しい組合せはどれか。

環境中に放出された無機水銀は、微生物によって主として a に変換される。生じた a は生物濃縮されるが、その主な経路は b である。その結果、人は c よりも d を介して a に暴露される。

	a	b	c	d
1	フェニル水銀	直接濃縮	魚介類	米
2	フェニル水銀	直接濃縮	米	魚介類
3	フェニル水銀	間接濃縮	米	魚介類
4	メチル水銀	間接濃縮	魚介類	米
5	メチル水銀	間接濃縮	米	魚介類
6	メチル水銀	直接濃縮	魚介類	米

問93 アミンやフミン質等が含まれている水を塩素消毒した際に生成する副生成物として、正しいものの組合せはどれか。

a クロロホルム

b ホルムアルデヒド

c クロロフェノール

d トリクロロエチレン

1 (a、b)

2 (a、c)

3 (a、d)

4 (b、c)

5 (b、d)

6 (c、d)

問94 下水に関する記述のうち、正しいものの組合せはどれか。

a 下水道法では、家庭生活排水や産業排水は下水であるが、し尿や雨水は下水ではない。

b 大都市と中小市町村の間に、下水道処理人口普及率の大きな差はない。

c オキシデーシオンディッチ方式による下水処理では、活性汚泥でBODを除去する。

d 下水道は、水道水源水域の保全だけでなく、都市浸水対策にも重要である。

1 (a、b)

2 (a、c)

3 (a、d)

4 (b、c)

5 (b、d)

6 (c、d)

問95 水質汚濁に関する記述のうち、正しいものの組合せはどれか。

- a 生息する生物の種類の変化を利用して、水質汚濁の程度を判定することができる。
- b 湖沼では、COD の環境基準達成率は 80% 以上である。
- c 富栄養化した内海では、カルシウム及びリン濃度が増加している。
- d 富栄養化した淡水湖沼では、アオコが異常増殖し、水の華が発生することがある。

1 (a、b)

2 (a、c)

3 (a、d)

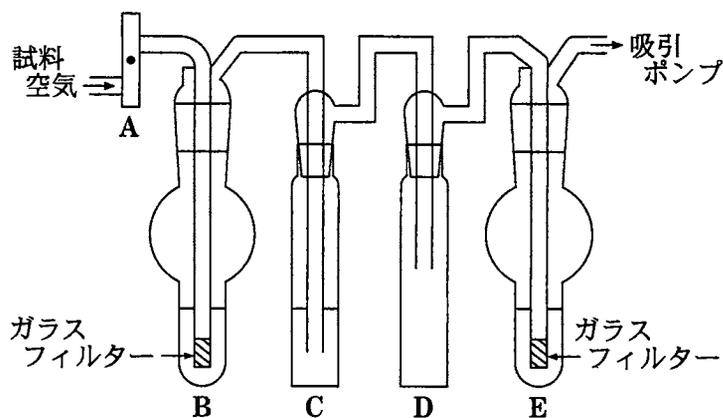
4 (b、c)

5 (b、d)

6 (c、d)

問96 ザルツマン法によって大気及び室内空気中の窒素酸化物を測定するため、図のような試料空気採取装置を用いた。図のAは流量計で、B管及びE管は吸収発色液(ザルツマン試薬)を入れた吸収管、Cは酸化液(硫酸酸性 KMnO_4 溶液)を入れた反応管、Dはトラップ用の空びんである。

B管及びE管で測定されるもとの試料空気中の窒素酸化物と、そのときの吸収発色液の色調との正しい組合せはどれか。



	B管	E管	色調
1	NO	NO_2	青色
2	NO	NO_2	桃紫色
3	NO_2	NO	緑色
4	NO_2	NO	桃紫色
5	NO_2	NO	青色

問97 大気汚染物質とその測定法の対応のうち、正しいものの組合せはどれか。

大気汚染物質	測定法
a 二酸化硫黄	溶液導電率法
b オキシダント	検知管法
c 一酸化炭素	トリエタノールアミン・パラロザニリン法
d 浮遊粒子状物質	重量法

1 (a, b) 2 (a, c) 3 (a, d)
4 (b, c) 5 (b, d) 6 (c, d)

問98 室内空気汚染に関する記述のうち、正しいものの組合せはどれか。

- a シックハウス症候群の主な症状は、下痢と腹痛である。
- b 室内濃度指針値は、室内空気汚染物質によりシックハウス症候群が引き起こされる閾値である。
- c 防虫剤であるパラジクロロベンゼンには、室内濃度指針値が設定されている。
- d ホルムアルデヒドは、ぜん息を増悪させるおそれがある。
- 1 (a, b) 2 (a, c) 3 (a, d)
4 (b, c) 5 (b, d) 6 (c, d)

問99 環境保全のための制度に関する記述のうち、マニフェスト制度に当てはまるものはどれか。

- 1 化学物質を譲渡する際、その性状を譲渡先に知らせる。
- 2 化学物質の排出量・移動量を国に届け出る。
- 3 産業廃棄物が適正に最終処分されたことを確認する。
- 4 新規輸入化学物質の分解性を調べて国に届け出る。
- 5 家電等のリサイクルを促進する。

問100 環境基本法に関する記述の正誤について、正しい組合せはどれか。

- a 国は、環境の保全に関する基本的かつ総合的な施策を策定する責務を有する。
- b 地方公共団体は、地方公共団体の区域の自然的社会的条件に応じた施策を策定する責務を有する。
- c 事業者は、事業活動を行うに当たって、自然環境を適正に保全するために必要な措置を講ずる責務を有する。
- d 国民は、日常生活に伴う環境への負荷の低減に努めなければならない。

	a	b	c	d
1	正	正	正	正
2	正	誤	正	誤
3	誤	正	誤	正
4	正	誤	正	正
5	誤	正	誤	誤
6	誤	誤	誤	誤

薬事関係法規及び薬事関係制度

問101 次の記述は、日本国憲法の規定の一部である。□の中に入れるべき語句の正しい組合せはどれか。

すべての国民は、□ a □として尊重される。生命、自由及び□ b □追求に対する国民の権利については、公共の□ c □に反しない限り、立法その他の国政の上で、最大の尊重を必要とする。

	a	b	c
1	個人	健康	福祉
2	人間	利潤	秩序
3	個人	幸福	福祉
4	国民	利潤	秩序
5	人間	健康	利益
6	国民	幸福	利益

問102 製造物責任法に関する記述のうち、正しいものはどれか。

- 1 薬局製造販売医薬品は、製造物に該当しない。
- 2 医薬品の添付文書の記載不備は、製品の欠陥には当たらない。
- 3 医薬品の製造をすべて他社に委託している製造販売業者は、損害賠償責任を問われない。
- 4 損害賠償を請求する者は、製造業者等に過失があったことを立証する必要はない。
- 5 損害賠償の請求権には時効がない。

問103 我が国の医療保険制度に関する記述のうち、正しいものの組合せはどれか。

- a 保険外併用療養費の対象には、「評価療養」と「選定療養」の2種類がある。
 - b 高額療養費制度とは、医療機関や薬局の窓口で支払った医療費が、一定額を超えた場合に、国がその全額を支給する制度である。
 - c 公費負担医療制度は、国又は都道府県が費用の全部又は一部を負担するものである。
 - d 保険給付の方法は、主として現金給付である。
- 1 (a, b) 2 (a, c) 3 (a, d)
4 (b, c) 5 (b, d) 6 (c, d)

問104 医薬分業に関する記述のうち、正しいものの組合せはどれか。

- a 医薬分業のメリットとして、複数の医療機関を受診している患者に対する重複投与の防止に役立つことが挙げられる。
 - b 医薬分業のデメリットとして、医師が処方せんを発行するにあたり、薬局の医薬品備蓄状況を確認しなければならないことが挙げられる。
 - c 近年(平成18年～20年)の統計によれば、都道府県別の医薬分業率は、最も低い県でも50%を超えている。
 - d 近年(平成18年～20年)の統計によれば、医薬分業率は、病院の方が診療所より高い。
- 1 (a, b) 2 (a, c) 3 (a, d)
4 (b, c) 5 (b, d) 6 (c, d)

問105 希少疾病用医薬品に関する記述のうち、正しいものの組合せはどれか。

- a 国内の対象患者数が5万人に達しないことを指定要件のひとつとしている。
 - b 製造販売承認の審査において、他の医薬品よりも優先して取扱うことができる旨の規定がある。
 - c 開発に当たり、非臨床試験は原則として免除される。
 - d 再審査期間は、希少疾病用医薬品以外の新医薬品より短いのが一般的である。
- 1 (a、b) 2 (a、c) 3 (a、d)
 4 (b、c) 5 (b、d) 6 (c、d)

問106 薬剤師の責任に関する記述の正誤について、正しい組合せはどれか。

- a 正当な理由がないのに、その業務上知り得た秘密を漏らしたときは、刑事責任を問われることがある。
 - b 薬局において、不正表示医薬品を販売した場合については、薬事法で罰則が設けられている。
 - c 薬剤師は、処方せんに疑わしい点があるときは、処方した医師に確認するよう患者に指示しなければならない。
 - d 販売又は授与の目的で調剤したときは、患者又は現にその看護に当たっている者に対し、調剤した薬剤の適正な使用のために必要な情報を提供しなければならない。
- | | a | b | c | d |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 正 | 正 | 正 | 誤 |
| 2 | 誤 | 正 | 正 | 正 |
| 3 | 正 | 誤 | 誤 | 誤 |
| 4 | 誤 | 誤 | 正 | 正 |
| 5 | 正 | 正 | 誤 | 正 |
| 6 | 誤 | 誤 | 誤 | 誤 |

問107 薬局開設者に関する記述のうち、正しいものの組合せはどれか。

- a 薬局開設者は、一般用医薬品を販売しない営業時間については、一般用医薬品を通常陳列し、又は交付する場所を閉鎖しなければならない。
- b 薬局開設者は、第一類医薬品について、新たに郵便等販売を行おうとするときは、あらかじめ、届書を都道府県知事に提出しなければならない。
- c 薬局開設者は、薬局医薬品を販売する場合には、その薬局で医薬品の販売に従事する薬剤師又は登録販売者に対面で販売させなければならない。
- d 薬局開設者は、薬剤師、登録販売者又は一般従事者であることが容易に判別できるよう、その店舗に勤務する従事者に名札を付けさせることその他必要な措置を講じなければならない。

- 1 (a, b) 2 (a, c) 3 (a, d)
- 4 (b, c) 5 (b, d) 6 (c, d)

問108 医薬品等の製造販売業の許可に関する記述の正誤について、正しい組合せはどれか。

- a 第一種医薬品製造販売業の許可を受けた者は、第二種医薬品製造販売業の許可を受けたものとみなされる。
- b 第二種医療機器製造販売業の許可を受けた者は、第三種医療機器製造販売業の許可を受けたものとみなされる。
- c 医薬部外品製造販売業の許可を受けた者は、化粧品製造販売業の許可を受けたものとみなされる。
- d 薬局の開設許可を受けた者は、その薬局について薬局製造販売医薬品の製造販売業の許可を受けたものとみなされる。

	a	b	c	d
1	正	誤	正	誤
2	誤	正	誤	正
3	正	誤	誤	正
4	誤	正	誤	誤
5	誤	誤	正	誤

問111 麻薬及び向精神薬取締法(以下「麻向法」という)に関する記述のうち、正しいものの組合せはどれか。

- a 薬局で麻薬を調剤するには、薬局開設者が都道府県知事から麻薬小売業者の免許を受けなければならない。
- b 麻薬による治療を受けている患者は、自己の疾病の治療の目的で、厚生労働大臣の許可を受けずに麻薬を海外へ携帯することができる。
- c 向精神薬輸入業者は、第一種向精神薬を輸入しようとするときは、その都度厚生労働大臣に届け出なければならない。
- d 麻薬等原料卸小売業者は、取り扱う麻薬向精神薬原料の譲り渡しが、麻向法で禁止される麻薬の製造に関連すると考えられる場合は、すみやかに都道府県知事に届け出なければならない。

- | | | |
|----------|----------|----------|
| 1 (a, b) | 2 (a, c) | 3 (a, d) |
| 4 (b, c) | 5 (b, d) | 6 (c, d) |

問112 覚せい剤取締法に関する記述のうち、正しいものの組合せはどれか。

- a フェニルメチルアミノプロパン及びその塩類は、覚せい剤として規制されている。
- b 覚せい剤施用機関において診療に従事する医師は、覚せい剤の中毒者に対し、その中毒を緩和するために、覚せい剤を施用することができる。
- c セレギリン塩酸塩(*N*, α -ジメチル-*N*-2-プロピニルフェネチルアミン塩酸塩)を含有する医薬品は、覚せい剤原料に該当する。
- d 薬局開設者が覚せい剤原料を廃棄しようとするときは、都道府県知事の許可を受けなければならない。

- | | | |
|----------|----------|----------|
| 1 (a, b) | 2 (a, c) | 3 (a, d) |
| 4 (b, c) | 5 (b, d) | 6 (c, d) |

問113 毒物及び劇物取締法に関する記述のうち、正しいものの組合せはどれか。

- a 毒物又は劇物の製造業の登録を受けようとする者は、その製造する品目について、性状、規格等の承認を受けなければならない。
 - b 毒物劇物営業者は、心身の障害により毒物又は劇物による保健衛生上の危害防止の措置を適正に行うことができない者として厚生労働省令で定めるものに対して、毒物又は劇物を交付してはならない。
 - c 毒物又は劇物を直接に取り扱わない輸入業者であっても、その営業所に専任の毒物劇物取扱責任者を置かなければならない。
 - d 毒物は、政令で定める技術上の基準に従わなければ、廃棄してはならない。
- 1 (a, b) 2 (a, c) 3 (a, d)
 4 (b, c) 5 (b, d) 6 (c, d)

問114 医療法に関する記述の正誤について、正しい組合せはどれか。

- a 医療は、生命の尊重と個人の尊厳の保持を旨として行われなければならない。
- b 医療は、国民自らの健康の保持増進のための努力を基礎として提供されなければならない。
- c 国及び地方公共団体は、国民に対し良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制が確保されるよう努めなければならない。
- d 薬剤師など医療の担い手は、医療を受ける者に適切な説明を行い、文書による同意を得なければならない。

	a	b	c	d
1	正	正	正	誤
2	正	正	誤	正
3	正	誤	正	正
4	誤	正	誤	誤
5	誤	誤	正	誤
6	誤	誤	誤	正

問115 医療提供体制の確保に関する基本方針として厚生労働大臣が定める事項の正誤について、正しい組合せはどれか。

	a	b	c	d
a 医療提供体制の確保に係る地域住民の費用負担に関する基本的な事項	1 正	正	誤	誤
b 医療提供施設相互間の機能の分担及び業務の連携に関する基本的な事項	2 正	誤	正	誤
c 医療を受ける者に対する医療機能に関する情報の提供の推進に関する基本的な事項	3 正	誤	誤	正
d 医師、歯科医師、薬剤師、看護師その他の医療従事者の確保に関する基本的な事項	4 誤	正	正	正
	5 誤	正	誤	正
	6 誤	誤	正	誤

問116 医師法、薬剤師法、保健師助産師看護師法に関する記述のうち、正しいものの組合せはどれか。

- a 医師については、その品位を損するような行為に対する厚生労働大臣による処分の規定があるが、薬剤師については、このような規定がない。
- b 医師自らが調剤を行う場合には、患者に交付する薬剤の容器又は被包に、その用法、用量を記載する必要がない。
- c 看護師は、傷病者などに対して療養上の世話又は診療の補助を行うことを業とする。
- d 医師は、診療をしたときは、本人又はその保護者に対し、療養の方法その他保健の向上に必要な事項の指導をしなければならない。

- 1 (a、b) 2 (a、c) 3 (a、d)
 4 (b、c) 5 (b、d) 6 (c、d)

問117 保険薬局に関する記述のうち、正しいものの組合せはどれか。

- a 保険調剤に従事する薬剤師は、保険薬剤師でなければならない。
- b 保険薬剤師の登録の申請は、勤務している保険薬局の開設者が行わなければならない。
- c 保険薬局の指定の申請に対し、指定しないこととするときは、地方社会保険医療協議会の議を経なければならない。
- d 保険薬局の指定の有効期間は3年である。

- | | | |
|---------|---------|---------|
| 1 (a、b) | 2 (a、c) | 3 (a、d) |
| 4 (b、c) | 5 (b、d) | 6 (c、d) |

問118 薬事法、健康保険法及びこれらに基づく法令の規定に照らし、正しいものの組合せはどれか。

- a 薬局開設者は、地域住民が薬局を選ぶ際に必要な情報を都道府県知事に報告しなければならない。
- b 薬局開設者は、薬局製造販売医薬品を調剤室に貯蔵してはならない。
- c 保険薬局は、健康保険事業の健全な運営を損なうことがないように努めなければならない。
- d 保険薬局は、保険調剤を行い患者から費用の支払いを受けるときには、理由の如何を問わず、明細書を交付しなければならない。

- | | | |
|---------|---------|---------|
| 1 (a、b) | 2 (a、c) | 3 (a、d) |
| 4 (b、c) | 5 (b、d) | 6 (c、d) |

問119 患者(50歳、男性)が次の保険処方せんを保険薬局に持参した。保険薬剤師が医師の同意を得ずに変更可能な場合の正誤について、正しい組合せはどれか。ただし、受け付けた処方せんの記載事項に不備はなく、後発医薬品への変更が可能な処方せんであり、患者は後発医薬品への変更を希望した。

(処方)

ガスター錠 10 mg 1回2錠(1日4錠)
 1日2回 朝食後・就寝前 14日分
 レバミピド錠 100 mg「〇〇〇」 1回1錠(1日3錠)
 1日3回 毎食後 14日分
 リンデロン-V 軟膏 0.12% 10 g 1日1回首に塗布

注1：ガスター錠 10 mg は先発医薬品で、一般名はファモチジン。

注2：レバミピド錠 100 mg「〇〇〇」は後発医薬品の商品名で、一般名はレバミピド。

注3：リンデロン-V 軟膏 0.12% は先発医薬品で、一般名はベタメタゾン吉草酸エステル。

- a ガスター錠 10 mg を同一有効成分の後発医薬品の口腔内崩壊錠に変更
- b ガスター錠 10 mg を同一有効成分の後発医薬品 20 mg 錠に変更
- c レバミピド錠 100 mg「〇〇〇」を含量規格が同一の他社の後発医薬品に変更
- d リンデロン-V 軟膏 0.12% を同一有効成分の後発医薬品のクリーム剤に変更

	a	b	c	d
1	正	正	正	誤
2	正	誤	正	正
3	正	誤	誤	正
4	誤	正	誤	正
5	誤	正	誤	誤
6	誤	誤	正	誤

問120 介護保険法に関する記述のうち、正しいものはどれか。

- 1 保険者は、都道府県ごとに設置された介護保険組合である。
- 2 被保険者は、65歳以上の者に限られる。
- 3 要支援者とは、寝たきり状態や認知症のため常時介護を要する者のことである。
- 4 介護給付を受けようとする被保険者は、要介護者に該当すること及びその該当する要介護状態区分について、医師の認定を受けなければならない。
- 5 薬剤師としての業務経験が5年以上であれば、介護支援専門員の登録を受けるための実務経験があるものとして扱われる。